

～神奈川県警察に協力、地域の安全・安心をめざす～

配送時に防犯注意呼びかけ、チラシ配布

株式会社マーキュロップ

2020年8月28日 16時03分

ウォーターサーバーによる天然水宅配サービスを提供する株式会社マーキュロップ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：田邊将宏）は、一般社団法人日本宅配水&サーバー協会（以下、JDSA）を通じて神奈川県警察から依頼を受け、家庭への侵入犯罪や特殊詐欺に関する防犯注意のチラシを8月26日より配布を開始しました。



配送時に防犯への注意を呼びかける様子

● 神奈川県内で1万枚強の防犯チラシ配布

神奈川県警察では、高い水準の被害が続いている特殊詐欺（※1）等の被害防止対策を推進しており、各種機関や団体等と提携しての広報啓発活動を展開されています。

ウォーターサーバーは高齢者を含め幅広い年代で利用されています。水を定期配送する際など顧客接点において、利用者へ防犯への注意喚起の声かけやチラシ配布に協力してほしいと神奈川県警察より依頼を受けました。今回、当社を含め神奈川県内で配送時にチラシ配布が可能な宅配水事業者で、高齢者層を中心に家庭へ1万枚強のチラシを配布します。当社では横浜営業所のスタッフが天然水の配送時や、年1回のメンテナンス（ウォーターサーバー交換）時などに、チラシを配布しお客様へ防犯への注意を呼びかけます。

※1. 特殊詐欺とは、犯人が電話などで親族や市役所職員等を名乗って被害者を信じ込ませ、現金やキャッシュカードをだまし取る犯罪。昨年令和元年（平成31年）全国の特種詐欺の認知件数は16,851件、被害総額は315.8億円。神奈川県内の特殊詐欺の認知件数は、東京に次いで2番目に多く2,793件、被害総額は53億9,200万円。

● 配送を通じて、地域の被害を未然に防ぐ活動に協力

当社はウォーターサーバーの設置から天然水の配送、メンテナンスまで、自社スタッフで対応しています。お客様にはスタッフの名前や顔を覚えていただき信頼関係を築くことを大切にしており、天然水の納品時にお会いできた場合には、短時間でも様々な会話をします。

スタッフは、実際にご年配のお客様から「先日詐欺のような電話があって、怪しいと思って息子に電話をかけて確認するとやっぱり詐欺だった」という話を度々聞くことも経験しておりました。この度のチラシ配布をきっかけに、よりお客様に防犯への意識を高めていただくことで、被害を未然に防ぐことができればと考え、神奈川県警察からの協力依頼にお応えすることにしました。おいしい天然水をお届けしながら夏の熱中症予防の声かけに続く、地域の皆様の安全・安心につながる活動として、積極的に取り組みたいと思います。

神奈川県警察からお知らせ

① 家のカギを忘れずに！～侵入犯に注意～

就寝中に無差別の玄関や窓等から侵入され、金品を盗まれる「忍込み」や「わいせつ事案」等が発生しています。



- 家に帰ったら、すぐに鍵をかけましょう。
- 就寝前にも、再度、玄関や窓等が施錠されているか確認しましょう。



② ながらスマホ・イヤホン ～狙われています～

歩きながら携帯電話やイヤホンを使用している女性を狙った、「ひったくり」や「痴漢」等が発生しています。



- 携帯電話やイヤホンを使用しながら歩くと、周囲の音が聞こえにくくなり危険です。
- こまめに後ろを振り返る等、犯罪被害に遭いにくい環境をつくりましょう。



③ 「電話」+「キャッシュカード」=「詐欺!?!」

市役所、銀行協会、警察官を名乗って、電話で「キャッシュカード」と言われたら詐欺の疑いがあります。



- 電話を切って、家族や警察等に相談してください。
- 犯人は録音を嫌いますので、迷惑電話防止機能付き電話機や留守番電話の設定も効果的です。



配布する神奈川県警のチラシ

【参考資料】

警察庁 特殊詐欺認知・検挙件数等 : <https://www.npa.go.jp/publications/statistics/sousa/sagi.html>

神奈川県警察 特殊詐欺の認知状況 : <https://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mesc2005.htm#kubun>

株式会社 マーキュロップ : <https://www.mercurop.co.jp/>

日本宅配水&サーバー協会 : <https://jdsa-net.org/>